

**小児慢性特定疾患**  
**登録・管理システム**  
**Ver 2.0**  
**操作説明書**

**平成 13 年 5 月 22 日**

**第 1 版**

## はじめに

当操作説明書は、Ver 1.1 との相違点を説明する文章構成となっております。  
また、画面等で説明できる一部については次頁以降で補足説明しております。  
今回リリースされた Ver2.0 では、以下のような機能が追加・変更されました。

### 1. ICD コード入力部の入力固定化

前バージョンでは、各意見書で任意の ICD コードも直接入力できましたが、今回のバージョンより ICD コードは全てリストからのみ選択入力することになりました。  
規定コード以外の入力が必要な場合には、従来機能である「メンテナンスメニュー」の「ICD コード管理」で予め登録しておく必要があります。

### 2. データベースの「修復と最適化」について

なんらかの原因により、データベースが一部破壊されている状況下で「データ出力」された場合、中央提出用のデータファイルが欠損してしまう場合があります。  
このため今回のバージョンからは「データ出力」時には従来機能である「修復と最適化」を忘れずに実施させるために、毎回警告メッセージを表示させるようになりました。

### 3. 医療意見書の改訂に併せた変更点

今バージョンでは、医療意見書の改訂に併せ以下の項目について追加・変更されました。

- ・1年以上間隔を開けた「再開」についても新規登録とは区別。
- ・悪性新生物の「FAB 分類 M」に対して「0」も入力可。

### 4. マルチオペレーター対応

複数台のパソコンによる入力業務を行っている場合、最終的にデータを統合するための「データ出力・読込」機能を新設しました。

### 5. 登録データの再確認機能

従来の各医療意見書の登録時に「仮登録」機能を設けた。  
これにより、新たに登録したデータの再確認およびデータの信頼性を増すことが期待される。  
また成長ホルモンについては、当該 ICD コードだけを対象とする入力規制を設けました。

### 6. データ削除機能

不要となった過去のデータを、年度単位で削除する機能を設けました。

### 7. 保健所コードの一元管理

中央での「保健所コード」の一元管理を行うため、従来機能である中央へのデータ出力時に併せて「保健所コード」も出力するようになりました。出力は、悪性新生物の中央提出用「データ出力」時に行うようになりました。(ファイル名：HCxxxx.csv)

### 7. その他

以下の項目については、小数点以下まで中央でも解析可能としました。

慢性腎疾患：血清総蛋白・アルブミン・クレアチニン

慢性心疾患：Qp / Qs・Rp / Rs

膠原病： 血清総蛋白・ グロブリン値

## 目 次

はじめに.....	2
1 インストール.....	4
1.1 インストールについて.....	4
2 医療意見書の改訂に併せた変更点 .....	5
3 マルチオペレーター対応.....	5
4 登録データの再確認機能.....	7
5 データ削除.....	8

## 1 インストール

当 CD-ROM は、Ver1.1 から Ver2.0 への「アップデート版」です。

既に Ver.1.1 がインストールされている環境でのみ、ご利用可能です。

Ver1.1 で入力したデータは消去されませんが、必ず事前にバックアップをしてください。

### 1.1 インストールについて

インストールは以下の手順で行ってください。

1. 「Ver 1.1」操作説明書の「5. バックアップについて」を参考に、「Ver1.1」の入力データを必ずバックアップしてください。
2. 「Ver 2.0」のインストール用 CD-ROM をパソコンにセットします。
3. エクスプローラを起動させます。
4. CD-ROM 上(ルート)にある setup.exe をダブルクリックします。
5. メッセージに従いインストール作業を進めます。  
インストール先のディレクトリには、必ず「Ver 1.1」がインストールされているディレクトリを指定してください。その他は Enter キーのみで作業は終了します。  
注意：途中「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」か「最小セットアップ」が聞いてきますが、必ず「標準セットアップ」を選択してください。
6. 以上でインストールは完了です。
7. スタートメニューの「プログラム」の「医療意見書」より各医療意見書のプログラムを実行してください。

## 2 医療意見書の改訂に併せた変更点

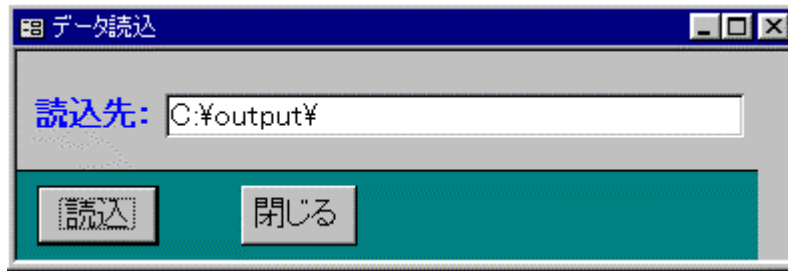
医療意見書の改訂に併せて、1年以上間隔を開けた「再開」についても新規登録とは区別して入力するようになりました。

## 3 マルチオペレーター対応

従来の中へのデータ出力とは別に、複数台のパソコンによる入力業務を統合するための「地方管理用」データ出力機能を新設しました。

中央提出用のデータとは異なり、個人データ等も含まれた内容を出力しますので取り扱いには充分ご注意ください。

地方管理用の場合、従来の中提出用ファイル名の前に「t\_」が付加された形式で出力されますが、中央提出用との混同を避けるためにも、別々のディレクトリ管理を行うようにしてください。



データの読み込みは、統合するパソコンで行います。

メインメニューの左下にある「データ読込」を押下すると上記の画面が表示されます。

個々のパソコンからデータ出力したネットワーク上の共有ディレクトリ、またはフロッピードライブなどの読込先を指定して「読込」を押下します。メッセージに従いデータを統合して処理を終了します。

**\*注意：重複データ等の不正データがあった場合には、正常に読み込めない場合があります。  
中央提出用データファイルは読み込めません。**

## 4 登録データの再確認機能

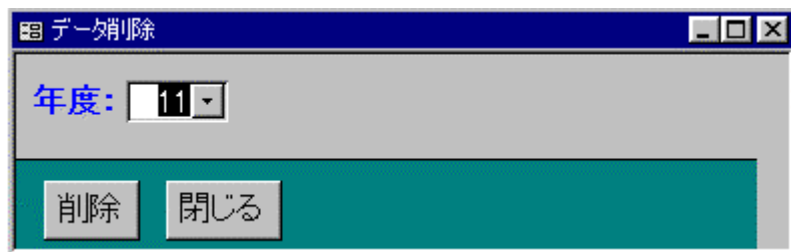
各医療意見書の登録は、「確定」または「一括確定」を押下することにより正規データとして本登録されるようになりました。つまりは確定をしない限り、入力データ仮登録の扱いとなり集計・データ出力の対象にはなりません。必ず入力データを確認し、誤入力等が無い事を確認の上、確定作業を行う事を習慣づけるようにしてください。

ここでは仮登録中の全データが表示・変更・削除することができます。  
また確定直後、そのデータは表示されなくなります。

**確定**：現在表示中の仮登録データのみ本登録します。  
**一括確定**：仮登録中の全データを本登録します。

また、内分泌疾患・先天性代謝異常の各医療意見書の登録時には、成長ホルモンの当該 ICD コードが入力された場合に限り、下記のように成長ホルモン(初回・継続)の医療意見書の入力ボタンが表示されます。  
当該 ICD コードの場合には、ボタンは表示されなくなりました。  
特殊なケースで成長ホルモンの医療意見書を入力される場合には、従来の「成長ホルモン医療意見書登録管理」から入力を行ってください。

## 5 データ削除



メンテナンスメニューに、「データ削除」機能を新設しました。

不要となった旧データを、年度単位に削除する場合に使用してください。

削除後に「データベースの修復と最適化」を行うと、ファイルサイズが縮小され、パフォーマンス向上する事ができます。

**\*注意：削除されたデータは復元できません。必ず予めバックアップする事をお薦めします。**



小児慢性特定疾患  
登録・管理システム  
Ver 2.0  
操作説明書

初版：平成 13 年 5 月 22 日

連絡先：

〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8  
日本子ども家庭総合研究所  
母子保健研究部  
加藤 忠明  
斎藤 進

TEL:03-3473-8311(代)

FAX:03-3473-8408

URL: <http://www.aiiku.or.jp/>

mail to: [syoinfo@aiiku.or.jp](mailto:syoinfo@aiiku.or.jp)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-6-4  
(株)エヌ アイ デイ